

近年、暑い日が増えた、大雨が多いと感じている方も少なくないのではないでしょうか。気候変動とは、以前より気温が上がったり、雨の降り方が変わったりしてしまうことを言います。気候変動は人間が出した二酸化炭素などの温室効果ガスの増加による「地球温暖化」が主な原因と考えられています。世界の年平均気温は19世紀後半以降、100年あたり 0.72°C の割合で上昇しています。また、日本ではそれを上回る100年あたり 1.24°C の割合で気温が上昇しているほか、異常高温の出現数の増加、短時間強雨や大雨の頻度の増加など、既に気候変動が生じており、さらに今後気候変動による影響のリスクが高くなると予測されています。

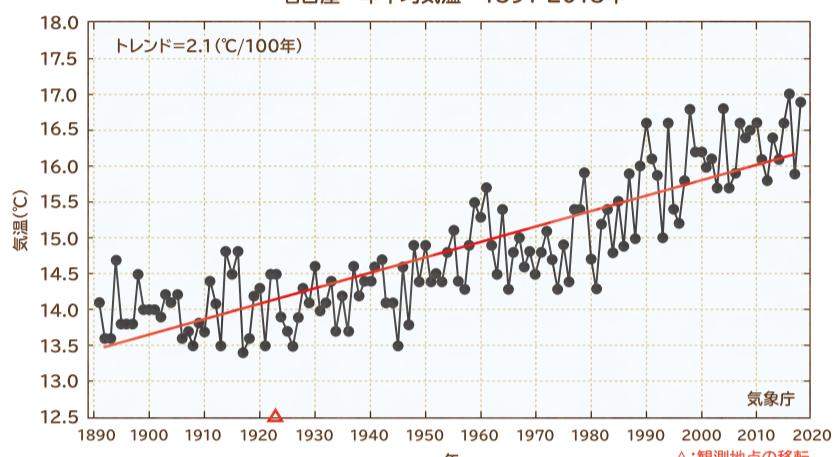


愛知県の気候変動影響

データでみる気候変動

年平均気温の推移(愛知県)

名古屋 年平均気温 1891-2018年

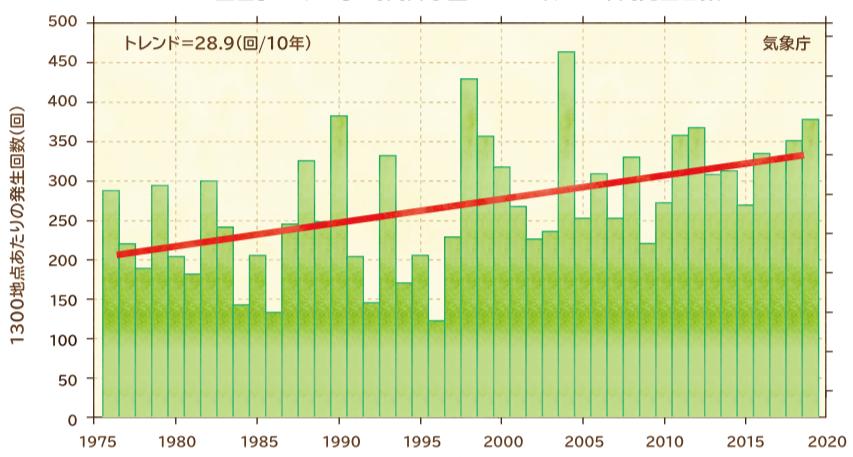


●愛知県の平均気温は、100年あたり 2.1°C 上昇しています。

出典:名古屋地方気象台 観測地:名古屋市

1時間降水量50mm以上の年間発生回数の推移(全国)

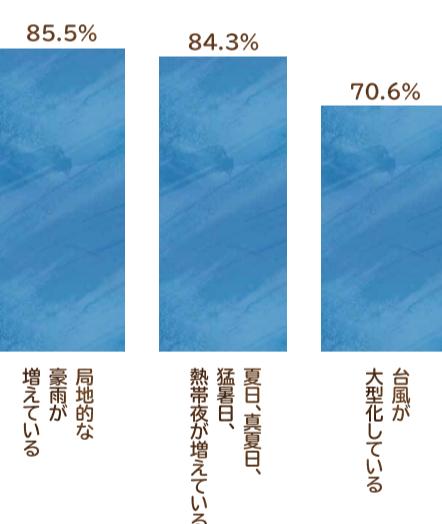
全国[アメダス]1時間降水量50mm以上の年間発生回数



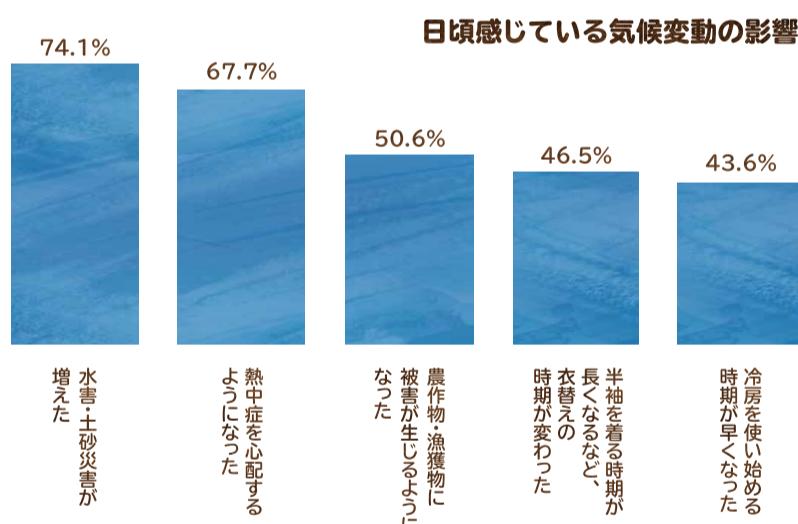
●1時間あたり 50mm以上の雨が降る頻度は、10年あたり約29回増加しています。

出典:気象庁

愛知県民の声からみる気候変動と影響 (調査期間2019.10.11~11.25 回答数1,356)



日頃感じている気候変動



日頃感じている気候変動の影響

- 7割以上の方が「局地的な豪雨の増加」「台風の大型化」「夏日、真夏日、猛暑日、熱帯夜の増加」を感じています。
- この他に、「海水温や海面の上昇」、「海流の変化」、「秋が短くなっている」、「雪の降り方も極端になっているのではないか」などの意見がありました。

- 6割以上の方が「水害・土砂災害が増えた」「熱中症が心配だ」と感じています。
- この他に、「熱帯の動植物を見かけるようになった」、「夏場、冷房をつけっぱなしにするようになった」、「運動会の開催時期が変わった」などの意見がありました。

気候変動と対策

気候変動のリスクを小さくするためには、温室効果ガスの排出量を抑制する緩和策だけでなく、影響に備える適応策が大切です。

緩和策
温室効果ガスの
排出量を
減らす

温室効果ガスの
增加
化石燃料使用による
 CO_2 排出など

気候変動
気温上昇、
降雨パターンの変化、
海面水位上昇など

気候変動による
影響
自然環境への影響
人間社会への影響

適応策
気候変動による
悪影響に
備える

気温上昇の幅をできるだけ小さく、スピードをできるだけ緩やかにする。
(例)省エネルギー対策、再生可能エネルギーの普及拡大、 CO_2 の吸収源対策など

避けられない気候変動の影響をできるだけ小さくする。
(例)熱中症予防、農作物の高温障害対策、治水対策、渇水対策など

愛知県の気候変動適応事例

夏季の高温への適応



高温耐性品種(稻)の導入 ～なつきらりの品種開発～

愛知県農業水産局
2004～2013年度事業



環境の変化をバネにして、より品質の高いお米を開発したところがポイントだね。

問題

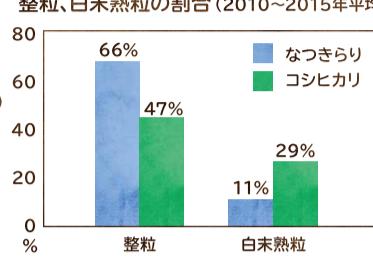
夏季の高温により コシヒカリに白末熟粒が発生

- 一等米比率の低下 全国平均80% 愛知県43%(2008～2015年平均)
- 農家の所得減少 ●愛知県産米の評価低下

課題

夏季が高温であっても品質が良い 米を安定して生産できる品種が必要

整粒、白末熟粒の割合(2010～2015年平均)



出典:愛知県農業総合試験場研究報告第47号

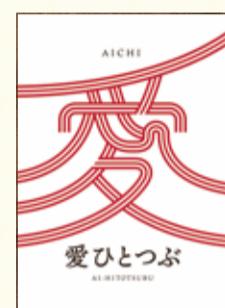
対応策

「なつきらり」の品種開発

- 高温に強い品種に、コシヒカリを交配し、高温耐性品種を選抜育成

特徴 コシヒカリに比べ白末熟粒の発生率が低い
味、粘りなどはコシヒカリと同等

2020年9月から「愛ひとつぶ」というブランド名で販売されています。



将来予測される海面上昇への適応



河川流域での被害軽減 ～日光川水閘門改築事業～

愛知県建設局
2007～2018年度事業



気候変動を見越した手戻りのない施設づくりというところがポイントだね。

問題

流域の海拔0メートル地帯を 高潮・津波から守る防災の要だが、 老朽化による機能低下の懸念

課題

長期的に利用可能な施設への 改修が必要

対応策

将来の海面上昇に対応 できるように改築

- 大規模地震への備えとした構造に加え、
将来の地球温暖化による海面上昇を考慮した構造を採用



私たちは何ができる？個人でできる適応策

熱中症・暑熱対策

- 気温が上がることで、これまで以上に熱中症に気を付ける必要があります。
- 暑い日は涼しい室内で過ごす。外出する際は水筒を持ち歩く、打ち水や緑のカーテンで暑さ対策を行うなど、自分たちでできることから対策を心がけることが大切です。



自然災害に備える

- 一度に降る雨の量が極端に多くなったり、強い台風が来る可能性があります。
- 災害に備えるために、ハザードマップや避難場所、避難経路を調べておくことや、気象情報の入手先を把握しておくことが大切です。



水资源を大切にする

- 雨が降る日が徐々に減る可能性があります。
普段から水を大切に使いましょう。



虫さされに気を付ける

- 気温上昇によりデング熱という病気を広める蚊の生息域が北上しています。必要な小さな水たまりをなくすなど、蚊の発生を減らすようにしましょう。



適応策はほかにもたくさんあります。また、社会全体で意識を高めていくことも大切です。
自分の親しい人や家族など、まわりの人と一度話し合ってみてはいかがでしょうか？

